報道関係者各位

2026年11月5日
株式会社ウィルオブ・コンストラクション
PLUS.1株式会社
大和ハウス工業株式会社

建設DX推進で高まるBIM人材需要により、『BIMスキルマトリクス』を構築

ウィルオブ・コンストラクション、PLUS.1、大和ハウス工業との共同プロジェクトで、BIM人材のスキル可視化と育成基盤づくりを推進

建設業界に特化した人材サービスを展開する株式会社ウィルオブ・コンストラクション（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：田中 謙、以下「ウィルオブ・コンストラクション」）は、PLUS.1株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高木 英一、以下「PLUS.1」）および大和ハウス工業株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：大友 浩嗣、以下「大和ハウス工業」）との共同プロジェクトとして『BIMスキルマトリクス』を構築しました。
本マトリクスは、ウィルオブ・コンストラクションのBIM人材育成・評価基準として活用を開始します。建設業界におけるBIM人材のスキル可視化・キャリア形成を行うために、BIM人材のスキルや役割を可視化することで、人材価値向上やキャリア形成支援につなげるとともに、企業との適切なマッチング強化を目指します。



本マトリクス構築の背景

建設業界では近年、国土交通省によるBIM/CIM推進を背景に、BIMの導入が加速しています。特に、2023年度から小規模を除くすべての詳細設計・工事でBIM/CIMの原則適用を開始するなど、建設DX推進に向けた取り組みを進めています。
一方で、BIM/CIM推進における課題として、「BIM人材の不足」「オペレーターを統括しBIMを活用できる人材の不足」などが挙げられており、人材育成やスキル定義の必要性が継続的に議論されています*。
また、BIM活用が広がる現場では、「スキルのミスマッチ」や「BIMモデルの施工活用」といった課題も顕在化しています。

ウィルオブ・コンストラクションでは、建設業界の人材支援を行う中で、「BIM人材を採用したいがスキル判断が難しい」「現場ごとに求めるスキルが異なる」といった声が増えていました。企業にとっても、求める人材像を客観的な基準で伝えることは難しく、双方のマッチング難易度を高める一因となっていました。

また、BIMの活用が施工領域へと広がる中で、単なるオペレーションスキルだけでなく、設計から施工までの連携を含めた実務スキルが求められるケースも増加しています。こうした背景を受け、ウィルオブ・コンストラクションとPLUS.1、大和ハウス工業は共同で、今後、より重要視される建設技術におけるAI知識をどのように活用できるか等、BIM人材に求められる役割・スキルを体系化し、人材と企業のミスマッチ防止にもつながる形で可視化する『BIMスキルマトリクス』の構築を進めてきました。

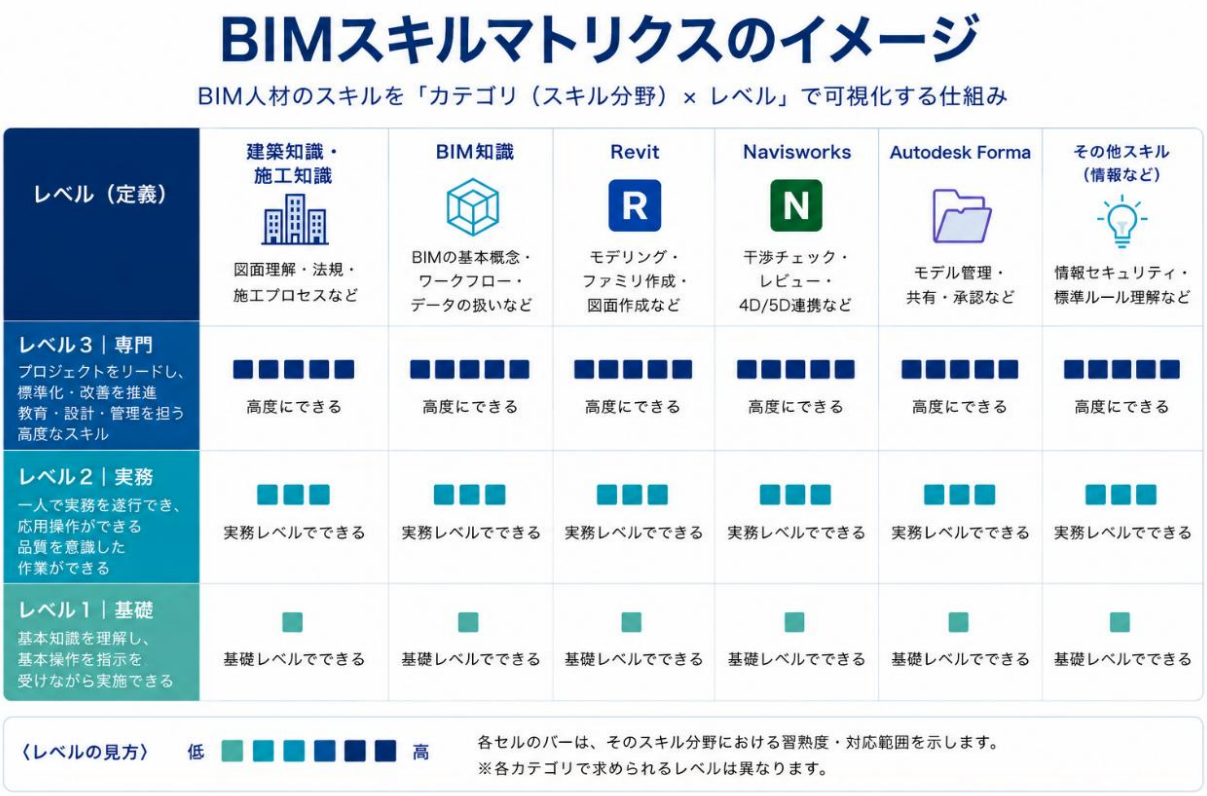
＊ 国土交通省 建築分野におけるBIMの活用・普及 状況の実態調査＜概要＞ （令和７年１月 国土交通省調べ）
https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/build/content/001876975.pdf

本マトリクスの概要

今回構築した『BIMスキルマトリクス』では、建築領域を中心に、BIMを操作できることと実際の業務を遂行できることは異なるという考え方のもと、BIMの操作スキルだけではなく、建築知識や施工知識、情報セキュリティ管理、さらには活用できるデータの範囲や企業ごとの標準ルールの理解度、実務知識の有無など多角的に分析できるスキルレベルの定義を行いました。これにより企業がBIM人材に求めるスキル・知識を現場で求められる役割単位で可視化できます。また、企業が求めるレベルの人材採用が可能なだけでなく、採用した社員の配置やスキルアップ支援も可能です。

本プロジェクトでは、建築事業を行う大和ハウス工業からの設計・施工計画の実務観点でのフィードバックや運用フロー・マニュアルの共有を基に、BIM分野に特化したコンサルティング企業であるPLUS.1の知見を活用して、BIM人材に求められる役割やスキル体系を整理しました。

あわせて、Revit、Navisworks、Autodesk Formaなど主要BIMツールごとにレベル定義を設計し、施工計画、干渉チェック、データ連携、モデル管理などに必要なスキルを評価できる100問超の設問を整備しました。さらに、本マトリクスはウィルオブ・コンストラクションで雇用している外国籍人材を含むBIM技術者7名への実証検査を行い、有用性を確認しています。



今後の展望

本マトリクスを使用した企業からは、「求めるレベルと外国籍人材のスキルの差分を計測できたことで、BIM操作などの強みや建築知識などの課題を人材ごとに可視化できた」との声をいただいており、マッチング精度の向上だけでなく、ミスマッチから生まれる見えない労務コストの削減にも寄与しています。

また、本マトリクスをBIM人材の教育や育成・評価・配置に活用してまいります。実運用を通じて評価データを蓄積し、スキル定義や評価基準の継続的な改善を行うことで、人材価値の可視化とキャリア形成支援を推進します。

あわせて、習得したスキルの向上を客観的に証明できる仕組みを整えることで、技術者一人ひとりのスキルに見合った適正な評価につなげてまいります。さらに、企業が求めるスキル要件と技術者の保有スキルをより正確に把握できる環境づくりを進めるとともに、マッチングおよび教育の両観点から本マトリクスの効果を測定し、そのインパクトを継続的に検証することで、建設DXを支える人材基盤の強化に取り組んでまいります。

各社からのコメント

株式会社ウィルオブ・コンストラクション　代表取締役社長　田中　謙

「近年、建設業界ではBIM活用が急速に広がる一方で、「BIMができる」とは具体的にどのようなスキルを指すのか、その基準は企業や現場によって異なります。私たちも人材支援を行う中で、企業が求めるスキルと人材が持つスキルを正しく把握・評価することの難しさを感じてきました。今回構築したBIMスキルマトリクスは、そうした課題に向き合い、BIM人材のスキルや役割を可視化するための取り組みです。まずは当社内で運用しながら検証を重ね、人材育成やキャリア形成支援の精度向上につなげていきたいと考えています。今後も、建設業界に特化した人材サービス企業として、建設DXを支える人材の育成と価値向上に貢献してまいります。」

PLUS.1株式会社　代表取締役社長　高木　英一

「BIMの活用が広がる中、「どのスキルがどのレベルで求められるか」という共通言語の欠如が、人材活用の最大の障壁となっていました。PLUS.1が国内向けに開発したフレームワーク「BIMスキルマトリクス」は、発注側と供給側のスキルコミュニケーションを標準化し、人材ミスマッチを構造的に解消することを目的としています。今回、ウィルオブ・コンストラクション、大和ハウス工業との協創を通じて実装に至りました。スキルの可視化はキャリアパスの明確化や適正な報酬設計にもつながり、建設業界全体の就労環境改善に波及すると確信しています。PLUS.1は今後もBIM人材の育成基盤づくりを通じ、建設DXの推進に貢献してまいります。」

大和ハウス工業株式会社　技術本部　技術戦略部　DX・BIM戦略室長　宮内　尊彰

「建設分野におけるBIM導入の目的は、3Dモデルによる高い視認性を活用した関係者間の早期合意形成だけではありません。BIMデータを活用し、次工程へ連携させることで、業務効率や品質・精度の向上、さらには提案力の強化にもつながります。BIMは、デジタル技術を実務の中で身近に体感し、学ぶことができる重要な業務領域です。近年のAI技術の急速な進展を踏まえると、デジタル知識や活用スキルの習得はますます重要になっています。そのため、当社ではBIM・デジタル人財の育成に注力しています。今回のBIMスキルマトリクスの構築が、業界全体のBIM人財育成の促進につながり、さらには建設デジタル人財の育成への貢献となることを期待しています。」

各社の概要

■ 株式会社ウィルオブ・コンストラクション

株式会社ウィルオブ・コンストラクションは、建設業界に特化した総合人材サービス会社です。施工管理技術者を中心とした人材派遣・人材紹介事業に加え、建設DXの推進を支援するBIM/CIM人材の育成・派遣・アウトソーシングや、建設業界向けメディアの運営を通じて、建設業界の人材不足や生産性向上などの課題解決に取り組んでいます。

代表者：代表取締役社長　田中　謙
設立：2011年5月10日
本社：東京都新宿区西新宿2-1-1　新宿三井ビルディング55階

■ PLUS.1株式会社

PLUS.1株式会社は、BIM分野に特化したコンサルティング企業です。BIM戦略の策定から導入、標準化、全社展開までを一貫して支援するとともに、クライアントやパートナーと協働しながら、BIMの価値を最大化することで企業価値の向上と建設業界の効率化、さらには社会課題の解決を目指しています。

代表者：代表取締役社長　高木　英一
設立：2024年3月6日
本社：東京都千代田区大手町1-5-1　大手町ファーストスクエア　イーストタワー4階

■ 大和ハウス工業株式会社

大和ハウス工業株式会社は、「人・街・暮らしの価値共創グループ」として、戸建住宅や賃貸住宅、分譲マンション、商業施設、事業施設、物流施設、データセンター、環境エネルギーなど幅広い事業を展開しています。住まいづくりからまちづくりまで、多様な領域で社会課題の解決と持続可能な社会の実現に取り組んでいます。

代表者：代表取締役社長　大友　浩嗣
創業：1955年4月5日
本社：大阪府大阪市北区梅田3-3-5

本件に関するお問い合わせ先

株式会社ウィルオブ・コンストラクション
（当社グループ会社：株式会社ウィルオブ・ワーク 広報担当：渥美（あつみ））
TEL: 090-8216-4492　MAIL: pr@willof.co.jp

PLUS.1株式会社　マーケティング担当：岩崎（いわさき）
TEL: 03-5219-1344　MAIL: info@bim-plus1.com

大和ハウス工業株式会社　広報企画部　東京広報グループ：黒瀬（くろせ）
TEL: 03-5214-2112　MAIL: info-ko@daiwahouse.jp